

ゆい 結 ながれやま



パパ向けベビーダンス講座の様子

私らしく
あなたらしく

男女共同参画を啓発する『結』です。
結とは・・・昔、農村の人々は手を貸しあうことを「結」と呼びました。また友達や友愛を意味する言葉でもあります。

流山でも始まっている
通勤時間0分の働き方



vol.17
2019.3

特集

男性にとっての 男女共同参画

妻と揃って自宅でお仕事！ 通勤時間ゼロという働き方

WEB集客コンサルタント

玉置 亮達 (たまおき りょうたつ)



初めまして、流山の自宅で2012年に起業した玉置亮達と申します。仕事はWEBでのライティングや、ZOOMというWEB会議システムを使ったコンサルティング業務です。オフの日は息子の好きなピタゴラススイッチと一緒に作っています。妻も2018年4月に自宅でバザルトストーンというホットストーンを使ったエステサロンを起業しました。現在、妻と育児をしながら基本的には2人とも自宅で仕事をしています。

お互いに自宅の中で完結する仕事なので通勤時間ももちろんゼロ。ただ正直、楽なことばかりじゃありません。大変なこと辛いこともあります。子どもの幼稚園の送迎や家事の分担など「どっちがやるのか？」と揉める時もあります。それでも、通勤時間ゼロのメリットを最大限生かして時間を有効活用し、夫婦でバランスを取りながら育児や家事を行っています。

勤めるという働き方は選択肢の1つ

実は、妻は子どもが生まれるまでは某化粧品会社の販売員として近隣の駅まで勤めに出ていました。出産を機に産休に入ったのですが、職場復帰の期限が迫った矢先に事件が…！なんと待機児童が多く子どもを保育園に預けられなかったのです。当初は少し落ち込んだものの、自宅で起業する方法を独自で勉強。会社勤めは働き方の選択肢の1つだと教えられ、ついに自宅での開業にこぎつけました。

終身雇用という概念がもはや過去の遺産となりつつある現代。副業はもちろん複業が徐々にメジャーな働き方になってきています。複業とは本業以外に働き口を見つけ、収入の柱となる生業を複数持つ働き方です。僕たち夫婦の働き方が、皆さんの複業の1つのヒントになれば幸いです

妻からのコメント

息子が待機児童になり、会社を退職せざるを得なくなった当時は、まさか自宅で起業することになるとは思っていませんでした。しかし、母になってからの働き方として、自宅で仕事することは最も効率的で理想的だと考えました。「夫婦で自宅で仕事をしているとケンカしないの？」とよく聞かれますが、常にそばにいたのでため込まずに言い合えて風通しは良くなったと思います。経営者としても尊敬していますし、なにより息子の成長と一緒に感じることができるので、夫には感謝しています。

パパスクール2018

パパの手で作る赤ちゃんのハッピータイム

～お子さんのスマホ撮影術と人気のベビーダンス～

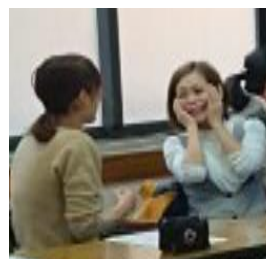


子どもを産んでも働き続ける女性が増えています。子育ては夫婦でするものですから、パパの子育てスキルもアップしてほしいもの。乳児のパパとママを対象ですが、今までになく男性の子育てに目が向けられた全3回の講座が南流山センターで開催されました。

最終日のパパ対象のベビーダンスのレッスンでは、リズムに合わせて赤ちゃんの好きなものを発表したり、抱っこひもで赤ちゃんを抱いて踊ったり。多くのパパが経験したことがないようで苦戦していましたが、練習を重ねると笑顔も見え、赤ちゃんは上下左右に揺れるステップでほとんどがすやすやと眠っていました。

パパが赤ちゃんとお過ごす間、ママはメイク講座です。ライフステージの近いママとのおしゃべりとメイクで、子育てから一瞬離れるひと時を満喫。気持ちも表情もパッと明るくリフレッシュしたママを迎えたダンスの成果発表では、パパたちが赤ちゃんを抱っこしながら張り切って踊りを披露し、ママたちは幸せそうな笑顔を向けていました。

「子どもと向き合う時間や育児に役立つことを学べてよかった」というパパ、「子育て中のママとゆっくり話せて刺激になった」と話すママが多く、終了後も家族同士の育児トークが止まりません。新たな友人の輪も広がる、子育てを孤独なものにしない環境作りの一助にもなった講座でした。



防災でも男女共同参画！

～どうして女性の参画と視点が必要なの？～

災害時には、避難所での共同生活や避難の長期化の中で様々な問題が発生します。男女のニーズの違いへの配慮は課題と言われ、いまや災害時を想定した準備や話し合いの場に女性の参画は不可欠。流山市で取り組む二つの組織を紹介します。

□防災まちづくり未来プロジェクト

地域で活躍できる女性リーダーの育成、さらにリーダーになった人は次の女性リーダーを育てられる人材に成長してほしい。「NPO法人パートナーシップながれやま」はその願いから男女共同参画の社会づくりのために活動しています。「防災まちづくり未来プロジェクト」では、呼びかけに手を挙げた16名の女性が「女性の防災リーダー養成講座プロジェクト～いつか来るその時に慌てないために！みんなで作る災害に強いまちづくり～」として年6回にわたり、多様な視点から災害時の対応などについて学びました。



「避難所生活を経験した女性が、更衣室や授乳室などプライバシーが保たれる空間がなくて辛かった、男性から生理用品や下着を受け取るのは抵抗があったと話すのをニュースで見て、防災や災害の場に女性の視点が足りていないと感じて参加しました。災害時はみんなが協力し合わないといけない。それぞれが持っている知恵や経験を引き出す、調整役を担うのがリーダーです。女性リーダーの役割は、女性しか気付かないことを伝えること、パイプ役になることだと思います。」とは参加者の声。

同プロジェクトは、今後もこの取り組みを継続し、流山市での多くの女性リーダーの誕生を目指しています。問い合わせ<http://ps-nagareyama.info>（団体ホームページからお問合せください）

□流山市赤十字奉仕団

創設は昭和54年。自治会などの要請で開催する災害時に備えた救急法講習会、身近なものを使った応急手当法の体験会など、楽しく学びながら、いざという時に役立つ知恵と技の普及を図っています。地域に根づいたボランティアで、現在の会員は56名です。



県内各市の赤十字地域奉仕団等が参加した「赤十字救急法フェスタ2018」では、救急法の実技とスピードを競うコンテストで見事、優秀賞とチームワーク賞に輝きました。市内で毎年実施している、子どもの万が一の事態に親ができることを学ぶ「パパ・ママのための赤十字救急法スクール」や、家族や周囲の方を助ける救助法を学ぶ「一日赤十字」の催しは大好評です。今年も「パパ・ママのための赤十字救急法スクール」は6月、「一日赤十字」は11月に開催される予定ですので「広報ながれやま」などでチェックしてぜひ参加してください。

「奉仕団では新規会員を募集中です。皆ベテラン会員なので、懇切丁寧な指導で若手や後継者を育てています。性別、年齢は不問、お仕事をされている方や学生さん、現在3名いらっしゃいますが男性会員も大歓迎です」と代表の山梨さん。自分のためだけでなく周りの人の命を助けられるスキルも身につく素晴らしい活動に、あなたも加わりませんか。

問い合わせ：流山市役所 社会福祉課 04（7150）6079



イラスト：三條栄子

社交ダンスで健康に



4月新規開講 途中参加可能。
問い合わせ
流山生涯学習センター（流山エルス）
〒270-0153 流山市中110
電話04-7150-7474

「何歳になっても踊るって楽しい、それが社交ダンスの魅力です。」と講座の講師、塚本さんは語ります。生徒さんには、80歳になってから始め、93歳の現役ダンサーもいます。テレビの健康体操には社交ダンスと同じ動きも多々あります。

また、社交ダンスで日常使わない筋肉を鍛えることは体の運動機能維持にも効果的。運動量も多く、始めたら5〜6キロ痩せた方も。ダンスは男女の共同作業なのでお互いに迷惑をかけないように力を出し合います。フロアをいかに回るかなどの状況判断は頭も使います。おおたかの森センター等の年に数回の親睦会も盛り上がるそうです。

本紙、中面記事の「ベビーダンス」も社交ダンスから生まれたものだそうです。健康年齢を若返らせる社交ダンス、始めてみてはいかがでしょうか。

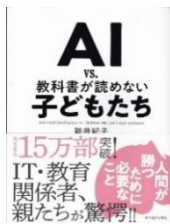


編集員おすすめ図書



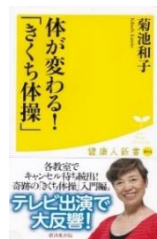
シェリル・サンドバーグ著
日本経済新聞出版社

フェイスブック初の女性役員が書いた職業経験と家庭生活と子育て。仕事と人生はこんなに楽しいと語り、女性が活躍する場が多いアメリカでもまだまだ女性進出の余地があると鼓舞する。日本とアメリカの文化の違いもわかる。



新井紀子著
東洋経済新報社

東大合格を目指した開発中のロボットがMARCHランクの大学には合格できるレベルに。文の内容を理解しなくても正しい答えを出せるなどAIの本質を解説する。AI時代の子どもの将来を考える参考になる。



菊池和子著
廣済堂出版

簡単な体操でも無意識と意識を持って動くのとでは、筋肉や骨の育ち方が全然違う。「きくち体操」は頑張らない動きなのに年齢を重ねてもイキイキした体をつくる体操だ。「自分の体を守るのは自分」菊池さん84歳。体操イラスト入り。

女性の生き方相談

～ひとりで悩まずお気軽にご相談ください～

秘密厳守・相談無料

相談方法：電話相談、面談相談

相談場所：市役所市民相談室

相談時間：第1・第2・第4金曜日

10:00～16:00

（祝日・年末年始を除く）

1人1回 相談（50分）※要予約

予約方法：流山市男女共同参画室

電話または窓口でご予約ください。

問い合わせ：04-7150-6091

流山子育てプロジェクト(NKP)による防災カルタ 2020年完成に向け現在進行中！

流山子育てプロジェクトによる防災カルタが2020年完成に向けて製作中です。「親子や地域のみんなで楽しく遊びながら防災について学べるものにしたい」との思いから、2018年に市内の小学生を対象に文案を募集。応募総数200点から厳正なる審査の結果、作品5点が決定し同年11月18日に授賞式が行われました。次号の「結」では、防災カルタ完成までの道のりを詳しくレポートします。お楽しみに。



【編集後記】

日常生活の中で、男女共同参画の視点を持つという事の重要性和記事にする難しさも数年関わる中で考えさせられます。
（三條 栄子）

特集に家族で登場させていただき、自分たちの働き方を改めて客観的に見られました。ありがとうございました。
（玉置 亮達）

男女共同参画は防災や育児などの多くの場面で必要な視点だという認識がもっと広がってほしいです。
（三井 優花）

AIが身近に活躍する時代はもう目の前、男女共同参画の手助けになるか興味があります。
（柳橋 和郎）

男女共同参画社会をめざす情報紙 結ながれやまVo1.17

企画編集：結ながれやま市民編集員

事務局：流山市総合政策部企画政策課男女共同参画室

※市民編集員を募集しています。

関心のある方は事務局までご連絡ください。

〒270-0192 流山市平和台1-1-1

TEL 04(7150)6064

FAX 04(7150)0111

Emai: daniokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

記事に関する、ご意見・ご感想をお待ちしております。